

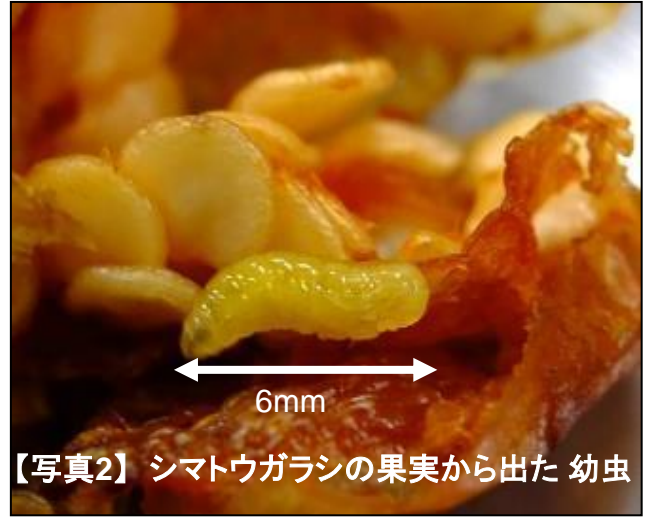
ナスミバエのまん延防止 にご協力を！

**★一般家庭の庭先や 家庭菜園 での被害が
増えています。**

- 国内では、沖縄県(北大東村を除く)と鹿児島県の一部離島だけに発生しています。
- ナス科野菜(ピーマン・シマトウガラシ・トマト・ナスなど)の実を幼虫が食害します(写真3、4、5)。



【写真1】ナスミバエの成虫(体長6mm)



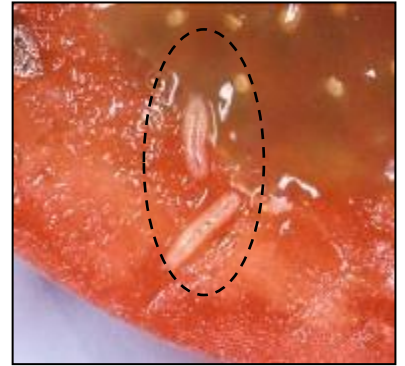
【写真2】シマトウガラシの果実から出た幼虫



【写真3】シマトウガラシの被害



【写真4】ピーマンの被害(左)



【写真5】トマトの被害
(円内は幼虫)

※ お問い合わせは下記まで。

沖縄県 病害虫防除技術センター Tel:098-886-3880

宮古駐在 Tel:0980-73-2634 八重山駐在 Tel:0980-82-4933

沖縄県 宮古農林水産振興センター スタッフ Tel:0980-72-2552

沖縄県 八重山農林水産振興センター スタッフ Tel:0980-82-3043

沖縄県 農林水産部営農支援課 Tel:0980-866-2280

ナスミバエはどうやって防除したらいい？

【農家の皆様へ】

①施設（ハウス等）では、防虫ネットや出入り口の二重カーテン等で侵入防止



施設出入り口

②露地栽培（野外）では、防虫ネットの被覆や果実の袋掛け等で侵入防止



収穫前ネット展張

③作物ごとに農薬取締法を遵守した薬剤を散布。

（トウガラシ類にはジノテフラン顆粒水溶剤（アルバリンまたはスタークル、周辺雑草にはスピノサド水和剤（スピノエースベイト））



袋の口はテープでしっかり閉じる

④寄生の疑いのある果実や残渣は、ビニール袋に入れ密閉し、一ヶ月程度炎天下で放置後、適切に廃棄



残渣（ざんさ）を野ざらしにしない

⑤畑周辺の野生の寄主植物（テリミノイヌホズキや野良トマト等）を徹底して除去

⑥収穫や出荷選別時には、寄生の疑いのある果実を入念に除去する。



野生の寄主植物も除去する
（テリミノイヌホズキ）

⑦出荷までの間は、コンテナ等を覆い、虫との接触を防ぐ。



上面だけでなく側面も覆う

ナスミバエはどうやって防除したらいい？

【家庭菜園などされている一般の皆様へ】

①農薬を散布出来ない場合は、
防虫ネットの被覆や果実の袋掛け等
で侵入を防止する。



残さを野ざらしに
しない

②落ちた果実や寄生の疑いのある果実、
残った果実は、野外に放置しない。
ビニール袋に入れ密閉して、適切に
処分する。



袋の口はテープで
しっかり閉じる

③家や畑の周辺の野生の寄主植物
(テリミノイヌホオズキや野良トマ
上等)を除去し、②と同様に処分す
る。



野生の寄主植物も
除去する
(テリミノイヌホオズキ)

沖縄県では **辛味トウガラシ類** の **生果実** の
移動自粛 をお願いしています。



寄生率が高く、まん延のリスクが高いトウガラシ類の
生果実・実の付いた苗を 本土などの未発生地域へ
持ち出さないで下さい。(冷凍品や加工品はOK)

発生地域

【北大東村を除く沖縄県】



未発生地域

【県外、北大東村】

ご理解とご協力をお願いします。